

～下絵を当日までに準備したい場合～

★用意する物

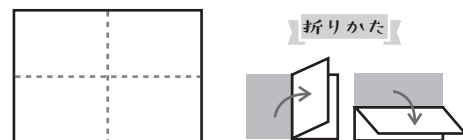
- ・印刷した下書き用紙 (A4)
- ・定規
- ・えんぴつ
- ・なまえぺん

下書き用紙をダウンロードする

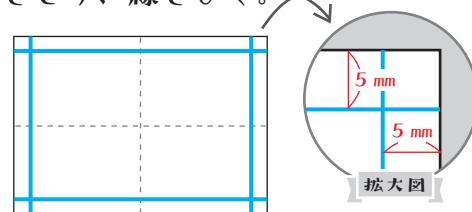
下書き用紙が印刷できない

★下書き用紙のつくりかた

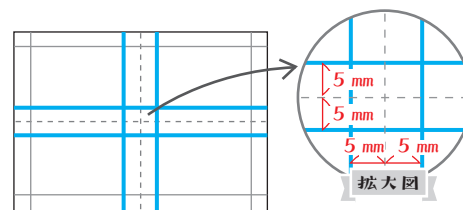
- ① A4 サイズの紙を半分に折り、縦横に十字の折り目をつける。



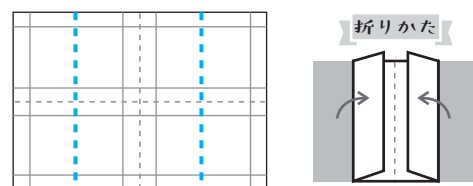
- ② 用紙の縁の内側に、それぞれ 5 mm の幅を取り、線をひく。



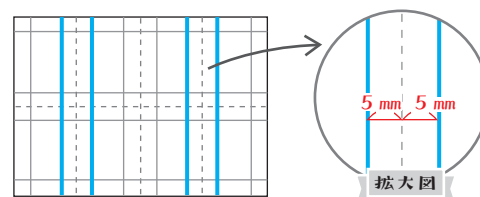
- ③ 折り目を中心にして両側に 5 mm の幅を取り、線をひく。



- ④ 縦の折り目に向けて両端の紙を折りこみ、折り目をつける。



- ⑤ ④の折り目を中心にして両側に 5 mm の幅を取り、③と同様に線をひく。



★下絵の描きかた

今回のワークショップでは、袋綴じタイプの本をつくります。

- ① まず、枠にえんぴつで下絵を描いていきます。
ページの順番は下の図のようになります。

●左開き(文章がヨコ書きの場合)



注意すること

左開き・右開きのどちらも
1 が表紙・8 が裏表紙になります。
2～7 が本の中身になります。
(※ただしページの流れが逆になるので、
開き方に気をつけて下書きしましょう。)

●右開き(文章がタテ書きの場合)



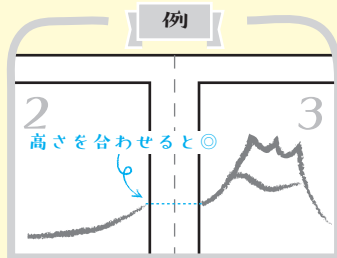
文字や絵の線などが細かすぎると、
彫る作業が難しくなります。

※下絵は枠内に描きこんでください。
枠から絵がはみ出ると、プレス機で
刷るときや製本時に、絵が切れたり
隠れてしまう可能性があります。

図

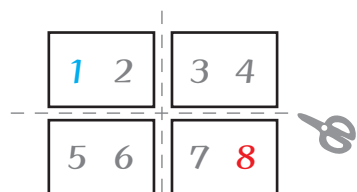
【見開きページで、つながった絵にしたい場合】

製本すると2-3、4-5、6-7が見
開きページになります。
※枠の外側はとじしろになる
ので、気をつけてください。



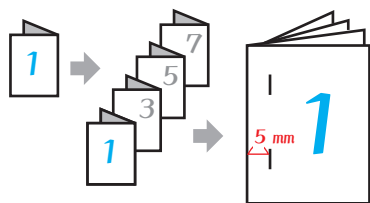
- ② えんぴつの下書きができれば、濃いペンで上から清書する。
当日、トレーシングペーパーに下絵を写す作業があります。

★当日の製本について (下絵の際のご参考になしてください)



縦・横それぞれ半分に折り目をつ
け、1・2、3・4、5・6、7・8 の
4等分になるよう、切り分けます。

下絵が外側にくるよう、半分に折り、ページ順に重ねます。



整えたら、背側から 5 mm のところを
ホチキスで留めて完成です！

用紙ができれば、下絵制作へ (左側へ)

8等分の枠が
できたら完成！

